

2011年度

科目名	文学研究技術論				
担当教員	足立 匡敏				
配当	日文2		コード	53039	
開期	前期	講時	金曜日3限	単位数	2
授業テーマ	コンピューターを活用した日本文学研究(与謝野晶子の短歌)				
目的と概要	この講義では、これからの学生生活において必要となる、情報収集の方法・データベース構築の方法・基礎文献の扱い方・レジュメの構成の仕方について学びます。 授業では、与謝野晶子の短歌を対象にして、(1)本文データベースをつくる、(2)参考文献を集める、(3)作成したデータベースを利用して考察する、(4)成果をまとめる、という一連の流れを経験してもらいます。 データベース化に取り組むのは、雑誌『冬柏』に掲載された与謝野晶子の短歌です。『冬柏』は、昭和期の晶子の活動を知る上で、最も重要な文献ですが、雑誌を所蔵する図書館などが少ないために、あまり研究が進んでいません。みなさんと一緒にデータベースを作成し、分析を試みることで新たな知見が得られるかもしれません。積極的な取り組みを期待しています。 なお、『冬柏』を所蔵する堺市立文化館と与謝野晶子文芸館を訪問し、実際に雑誌を手にとって調査することも予定しています。				
成績評価法	授業中に課す課題(60%)と授業に対する取り組み方(40%)などを総合的に見た上で評価します。				
テキスト	講義中に配付する教材・資料等で行います。				
参考書	授業中に指示する。				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	様々な時代や作者の短歌を多く読んでおいてください。				
講義計画					
【第1回】ガイダンス、および電子書籍・図書館の現状について 【第2回】与謝野晶子についての概説 【第3回】様々なデータベースの紹介 【第4回】どのようなデータベースを作るか 【第5回】本文データベースの構築(1) 【第6回】本文データベースの構築(2) 【第7回】本文データベースの構築(3) 【第8回】堺市立文化館と与謝野晶子文芸館での調査 【第9回】参考文献の探し方(1) 【第10回】参考文献の探し方(2) 【第11回】データベースを用いた分析と考察(1) 【第12回】データベースを用いた分析と考察(2) 【第13回】データベースを用いた分析と考察(3) 【第14回】考察結果をまとめる(1) 【第15回】考察結果をまとめる(2)					